２０２０年（令和２年）　１０月２７日　火曜日

東奥日報　１５面　掲載

ソフトバンク育成2位 プロに

中道（八学大）「地方からでも」

十和田初

福岡ソフトバンクから育成2位に指名された八戸学院大の中道佑哉投手＝写真＝は十和田市から初のプロ入り。「地方からでもプロになれると証明できた」と力強く語った。

名前が呼ばれるまで「緊張というより不安が大きかった」と振り返り、「育成」でも指名されたことが素直にうれしい」と安堵（あんど）の表情を浮かべた。

「地元の応援があったから今の自分がいる。少しでも早く1軍に上がれるように結果を出し続ける」と決意を述べた。

三本木中時代、監督として指導した洞内裕一さん(37)は「中学校のころから将来性を感じさせる選手だった。プロで戦える体をつくって、後輩たちに夢を見せてほしい」と期待した。

父貴幸さん(47)は「とにかくほっとした。向上心を忘れず、けがをしないように頑張ってほしい」、母美恵子さん(49)は「指名にびっくりしたが、ただただうれしい」と喜びを語った。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです